

胃食道逆流症(GERD)の主な症状

- ①胸やけがする
- ②酸っぱいものや苦いものがかみ上がってくる(呑酸)
- ③胸からみぞおちが重苦しくて、手のひらで胸をさする
- ④ゲップがよく出る
- ⑤のどに違和感(ヒリヒリ、イガイガなど)がある
- ⑥せきが出る
- ⑦飲み込むとつかえることがある
- ⑧おなかが張り、食事の途中で満腹になる
- ⑨食べた後に胃がもたれ、気持ちが悪くなる

⑬ 胃食道逆流がある人…

人生100年時代の**健康管理**
 桐生大学 桐生短期大学部副学長 山科 章



【プロフィール】広島県生まれ。1976年広島大学医学部卒業後、聖路加国際病院内科勤務。99年東京医科大学循環器内科主任教授。2020年から現職。総会内科専門医、日本循環器学会専門医、元日本循環器病予防学会理事長。

前回は胸やけの主な原因は胃酸が食道に逆流する胃食道逆流症であること、逆流する主

トレスによる食道知覚過敏などが増加の原因と考えられています。食べすぎ、飲みすぎ、前かがみ姿勢、腹部が圧迫される服装、食後すぐの臥位(がし)、寝る前の食事や逆流を起こしやすくなります。アルコール、コビト、たばこなどの嗜好(しこ)物(煙)は、下部食道括約筋を緩めるのでGERDを起こしやすくなります。

な原因は下部食道括約筋のゆるみと食道裂孔ヘルニアであることとを説明しました。今回は、胃酸が食道に逆流することによって、胸やけなどの症状が起る胃食道逆流症(GERD)と呼ぶことについて紹介します。

胃食道逆流症は、胃酸が食道に逆流することによって、胸やけなどの症状が起る胃食道逆流症(GERD)と呼ぶことについて紹介します。胃酸が食道に逆流することによって、胸やけなどの症状が起る胃食道逆流症(GERD)と呼ぶことについて紹介します。胃酸が食道に逆流することによって、胸やけなどの症状が起る胃食道逆流症(GERD)と呼ぶことについて紹介します。

保健・福祉

胃食道逆流症(GERD)の典型的な症状は胸やけと呑酸(とんさん)です。胸やけとは、胃酸が食道に逆流することによって、胸やけなどの症状が起る胃食道逆流症(GERD)と呼ぶことについて紹介します。

のせきは寝つきを悪くし、せきで目が覚め、睡眠障害の原因となることもあります。GERDの重症度は、逆流する胃内容物の量や、酸の酸性度(pH)にも影響され、重症になるにつれて、食道の粘膜に炎症、びらん(ただれ)や潰瘍など粘膜炎(ねんえん)が起ります。胸やけや飲み込むときの痛み、呑酸、胸やけ、嘔下(おうげ)などの症状は、日常生活に支障を来します。重症になると、胸やけ、嘔下(おうげ)などの症状は、日常生活に支障を来します。重症になると、胸やけ、嘔下(おうげ)などの症状は、日常生活に支障を来します。

◆毎週月曜連載 桐生大学・桐生大学短期大学部副学長の山科章さんは、同大学医療保健学部の学生などに講義も開講している。